

令和3年度 栃木県立宇都宮南高等学校評価に関するアンケート結果報告

I はじめに

本校の教育活動改善に資する資料とするため、全校生徒937名と保護者を対象に10月19日(火)から11月5日(金)にかけて「学校評価に関するアンケート」を実施しました。昨年度同様、多くの保護者の皆様からご回答を頂き、ありがとうございました。自由記述のご意見も多数お寄せ頂き保護者の皆様の本校の教育活動への関心と期待の高さをあらためて認識いたしました。ご要望も多数寄せられましたが、さらなる改善に向け可能な限り取り組んでまいりますので、今後とも本校の教育活動に対するご理解ご協力を賜りたく存じます。

アンケートの回答状況については次のとおりです。

回答数 生 徒 925 名(1年: 315 名 2年:305 名 3年:305 名)

保護者 858 名(1年: 284 名 2年:296 名 3年:278 名)

提出率 生 徒 98.7 % 保護者 92 %

アンケート結果の分析は、次の点に留意しました。

- ① 回答項目のすべての回答状況をグラフ化し、特徴的なことを付記しました。
- ② 「生徒」「保護者」に共通する質問項目については、質問項目を領域ごとにA「学校のイメージ」、B「学習」、C「進路」、D「生活指導」、E「学校行事・部活動」、F「環境・施設」に分類し、両者のデータを並べて掲載しました。
- ③ 「生徒」「保護者」いずれかのみを対象とした質問項目については、個別に掲載しました。

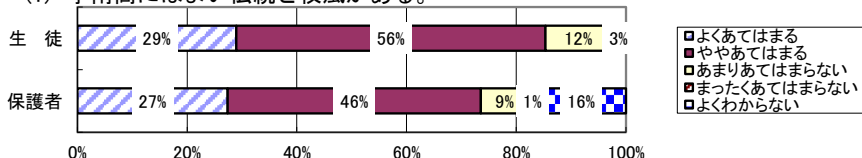
II アンケート結果概要

注:「よくわからない」という回答選択肢は、保護者対象のアンケートにのみ設けました。また、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を合わせて肯定的な評価とし、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」を合わせて否定的な評価とし、各質問項目の回答状況を分析しています。

(1) 生徒・保護者共通質問項目

A 学校のイメージについて

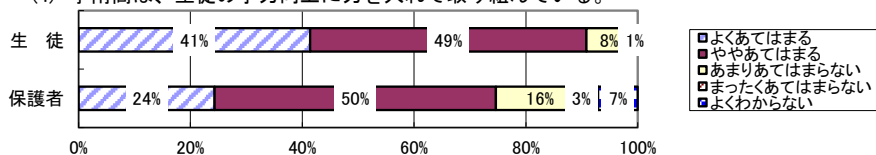
(1) 宇南高にはよい伝統と校風がある。



肯定的評価については、生徒は85%でここ数年間では最高値であった。しかし、保護者は昨年より微減し、73%にとどまった。「よくわからない」との回答も昨年度とほぼ同じ水準である。本年度もコロナ禍で授業参観や文化祭等、保護者の参加が見送られたことが要因の一つと考えられるが、HP等を活用した教育活動の発信が課題である。

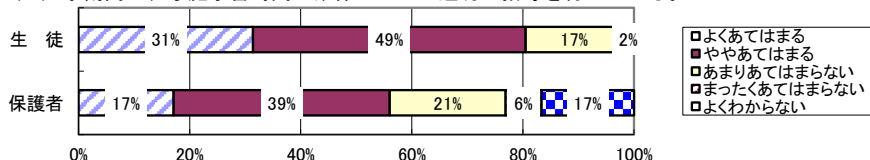
B 学習について

(4) 宇南高は、生徒の学力向上に力を入れて取り組んでいる。



本校の重点目標に関する質問だが、生徒の肯定的評価は90%と高い水準にある。これは本校の学力向上に向けた取り組みと、授業を中心とした教員の学習指導が一定の理解を得ている結果と思われる。しかし、保護者の肯定的評価は昨年度から微減した。放課後や土曜開放(特別講座)のあり方を含めて、学力向上に向けた取組を維持、改善していかなければならない。

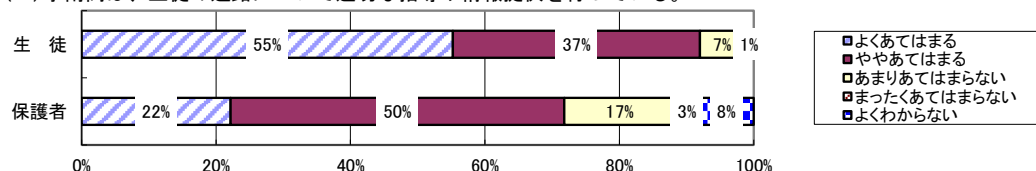
(13) 宇南高は、家庭学習時間の確保について適切に指導を行っている。



学力の向上には、十分な家庭学習時間の確保が必要である。生徒については、昨年度に比べ「まったくあてはまらない」が3%から2%に、「あまりあてはまらない」が24%から17%にそれぞれ減少している。つまり全体の約8割の生徒が家庭学習時間の確保に向けた本校の指導を適切と受け止めている。一方、保護者の否定的評価は27%に達しており、学校の指導に物足りなさを感じている。今後も家庭での学習習慣の定着に向け、保護者との連携を図り効果的な指導に努めていく。

C 進路について

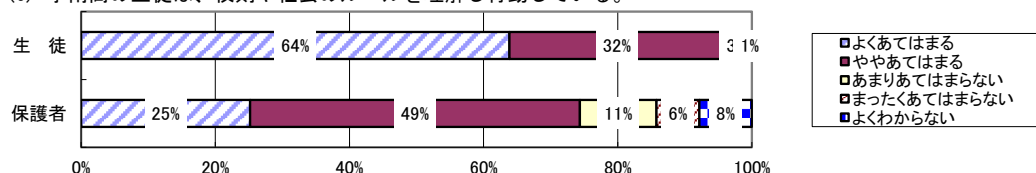
(5) 宇南高は、生徒の進路について適切な指導や情報提供を行っている。



生徒の評価では、「よくあてはまる」という回答が昨年度の44%から55%に上昇した。保護者については、肯定的評価が昨年比で微増、否定的評価が昨年度と同様20%であった。否定的評価を下した生徒は8%にすぎないものの、今後も進路に関する適切な指導や情報提供を通して、生徒はもちろん保護者も納得のいく進路実現に向けて努力していかなければならない。

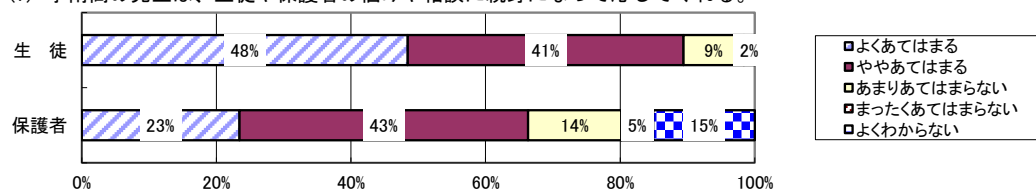
D 生活指導について

(6) 宇南高の生徒は、校則や社会のルールを理解し行動している。



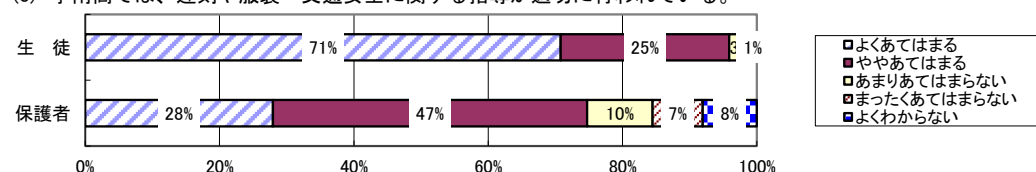
「よくあてはまる」という最上の自己評価を示した生徒は64%だが、他者(保護者)の回答は25%にとどまる。否定的な評価は生徒4%に対して保護者は17%である。この結果は、生徒の学校外での行動に課題が残る可能性を示唆している。今後も保護者のみならず、地域と連携を図りながら、根気強く継続的に指導していく。

(7) 宇南高の先生は、生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じてくれる。



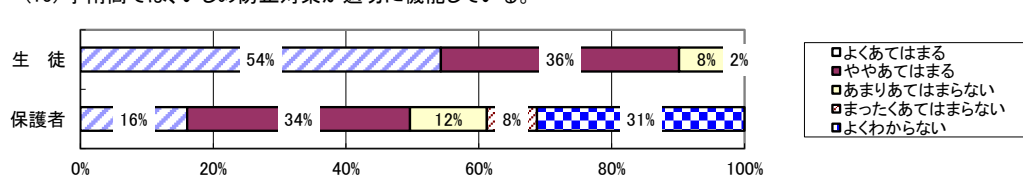
この項目でも生徒の回答では肯定的評価が微増、保護者では否定的評価が微増という結果となった。ただし、生活指導に関する他3項目の回答状況に比べると、「よくあてはまる」割合における生徒と保護者の値の差は小さい。もっとも、保護者では「よくわからない」という回答の割合が15%と高い。このため、保護者と緊密に連携を図り、個人懇談や日常的な生徒観察を通して、生徒の不安や悩みを感知し、より適切な支援が行われるよう努めていかなければならない。

(8) 宇南高では、遅刻や服装・交通安全に関する指導が適切に行われている。



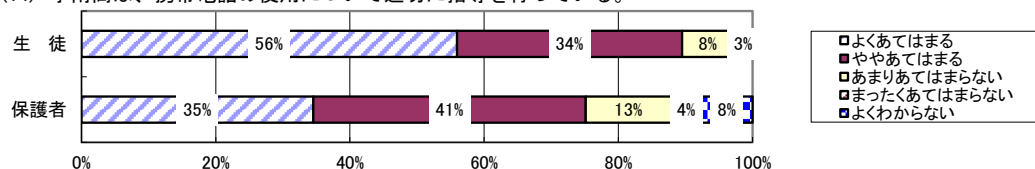
「よくあてはまる」という回答に関しては、生徒が71%に対して保護者は28%と大きな開きがみられる。さらに、昨年度84%だった保護者の肯定的評価は、今回10%近く低下した。本年度も交通事故が多発している状況であり、保護者のみならず市民からも本校生徒の交通マナーには改善意見が寄せられることから、これまで以上に指導の徹底を図る必要がある。

(15) 宇南高では、いじめ防止対策が適切に機能している。



生徒については、「よくあてはまる」という評価が昨年度の39%から54%に増加し、否定的評価が同19%から今回10%とほぼ半減した。その一方、保護者では「よくわからない」との回答が昨年度(35%)ほどではないものの、今回も31%と高率になった。また、この項目では生徒と保護者の間で肯定的評価の乖離が一層顕著である。毎月実施しているいじめアンケート、生徒への目配りと相談体制の充実など恒常的かつ地道な指導の強化を図らなければならない。

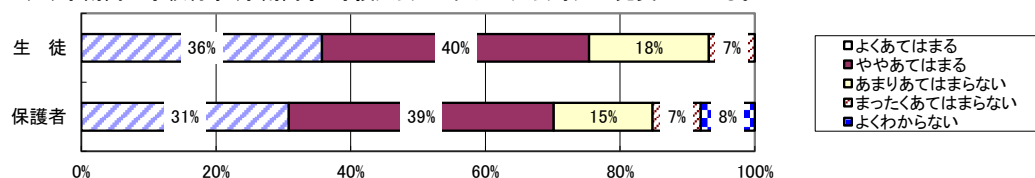
(14) 宇南高は、携帯電話の使用について適切に指導を行っている。



この質問項目でも、生徒の約9割が本校の取り組みを肯定している。ここでも「よくあてはまる」という評価は昨年度(48%)から8%上昇した。保護者の回答は他項目の結果と同様の傾向である。携帯電話及びスマホの使用については、その多機能性ゆえ適切な使用の必要性が一層求められる。マナー遵守とSNS全般の健全な使い方について、保護者の理解を得ながら指導に努めていく。

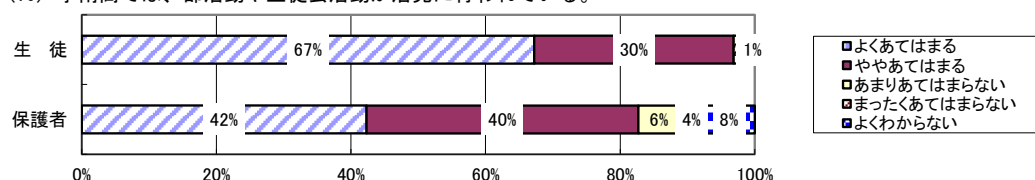
E 学校行事・部活動について

(9) 宇南高の学校行事(宇南高祭・球技大会・マラソン大会等)は充実している。



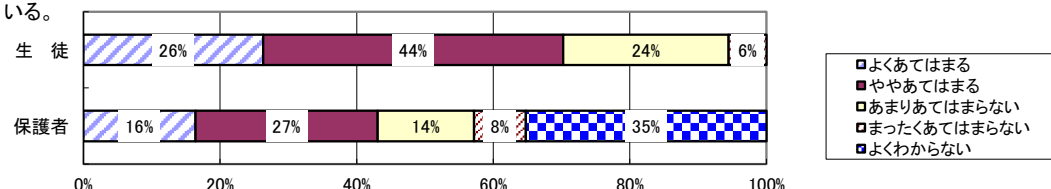
肯定的評価を示した生徒は、回答者の76%と昨年度の値とまったく同じである。保護者については、コロナ禍前の一昨年度の回答では86%が肯定的な評価を示していたが、昨年度は74%へと大きく低下し、今回はさらに70%まで減少した。その一方、保護者の「よくわからない」という評価が昨年度比3%の減少であった。学校行事や部活動が一部予定通り実施できなかったことへの評価だが、今後も感染症対策と学校活性化及び教育効果の観点から踏まえ、コロナ禍における行事等のあり方について検討を続ける必要がある。

(10) 宇南高では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。



本校の部活動は、文化部・運動部ともに盛んであり、それが対外的に本校の強み・魅力となっている。昨年度微減した生徒の肯定的評価は、今回97%にまで回復し、高評価となっているのも頷ける。しかし、やはりコロナ禍のためか保護者の肯定的評価は昨年度に引き続き低下した。今後とも、生徒会活動を含め学校行事と特別活動の活性化のための取組を維持していかなければならない。

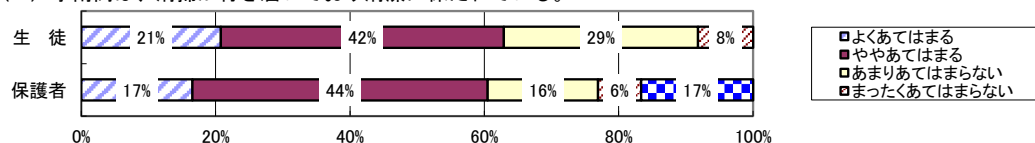
(16) 宇南高では、地域と連携した活動や、国際性を高める活動(インターアクト活動等)を積極的に行っている。



この回答項目は二年連続で肯定的評価の値が有意に減少(生徒:86%⇒74%⇒70%、保護者:63%⇒51%⇒43%)し、否定的評価の割合が今回は生徒の30%、保護者の22%に達した。これらの活動も本校の特長であるが、短期留学等の国際交流事業は実施困難な状況にある。コロナ禍での活動を工夫し、継続性を重んじてグローバル人材の基盤となる教育活動を充実させる必要がある。また今回のアンケートでも保護者の35%がこうした本校の教育活動に対して「よくわからない」と回答しており、HP上での情報発信を一層積極的に行わねばならない。

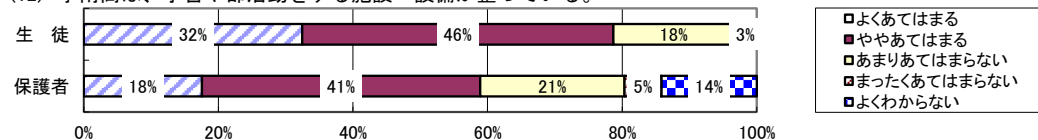
F 環境・施設について

(11) 宇南高は、清掃が行き届いており清潔に保たれている。



昨年度と比較すると、生徒の評価は改善(肯定:56%⇒63%、否定:45%⇒37%)したものの、保護者の評価は低下(肯定:67%⇒61%、否定:20%⇒22%)した。生徒の回答状況では、本校の課題の一つでもあった清掃活動への取り組み状況は向上したと言えるが、保護者の理解を十分に得られていない現状が見える結果である。清掃活動は、学校の衛生環境を保全するとともに、利他性や協働する姿勢を養うという教育効果を併せ持つ。清掃活動の一層の充実に向け、その意義や重要性を踏まえ、より教育効果を高めていく指導に努める。

(12) 宇南高は、学習や部活動をする施設・設備が整っている。

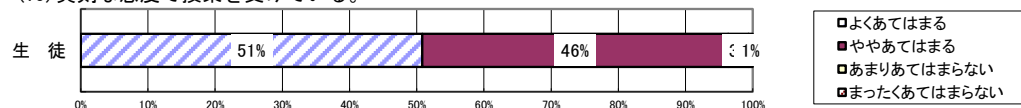


昨年度と比べた評価割合の変化については質問(11)とほぼ同じ傾向である。その一方で、肯定的評価の割合は、生徒と保護者はほぼ同率だった質問(11)とは異なり、生徒は78%と高く、逆に保護者は低い(59%)。教育活動の充実にはハード面での整備が不可欠である。今後とも県との調整を図りながら改善していく必要がある。

(2) 生徒だけへの質問項目

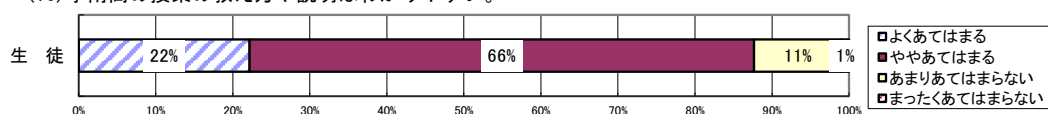
G 自分自身について

(15) 真剣な態度で授業を受けている。



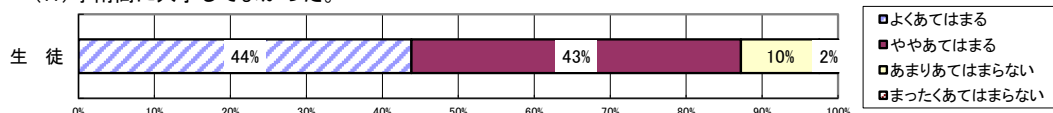
およそ半数(51%)の生徒が「よくあてはまる」と自己評価している。昨年度から9%上昇し、肯定的評価全体では97%にまで達していることは素晴らしい。その反面、ごく少数だが、さまざまな理由で授業に集中して取り組めない生徒もいる。授業は学校の教育活動の中心である。魅力ある授業をさらに充実させ、家庭学習にも意欲的に取り組む生徒の育成が本校の大きな課題の一つである。

(16) 宇南高の授業の教え方や説明はわかりやすい。



肯定的評価の割合は昨年度の77%から88%へと上昇したが、100%が理想である。教育改革及び入試改革に対応すべく、「わかる授業」を日々工夫し、生徒が主体的に学習できるよう組織的かつ継続的に授業改善に取り組んでいかなければならない。また、個々の生徒に応じた指導も組み合わせることで効果を高めていく。

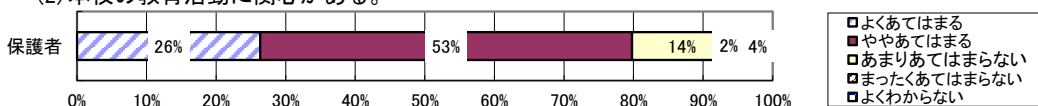
(17) 宇南高に入学してよかった。



学校満足度については、肯定的評価はこの三年間で上昇(72%⇒81%⇒87%)し、一昨年度の回答では27%あった否定的評価の割合は今回12%にまで減少した。コロナ禍の高校生活でさまざまな制約を余儀なくされている生徒たちだが、逆境の中でも本校で学ぶ意義を真剣に考えてくれていることに感謝したい。この評価に満足することなく、今後も学校の教育活動、指導体制のさらなる改善に向け、各部・各学年が連携し、特色ある学校づくりに取り組み、本校の魅力をさらに高めていく。

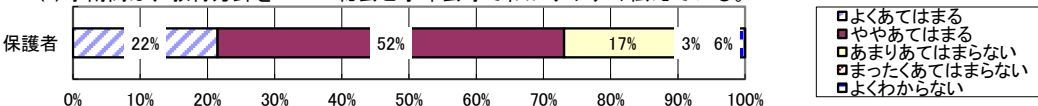
(3) 保護者だけへの質問項目

(2) 本校の教育活動に関心がある。



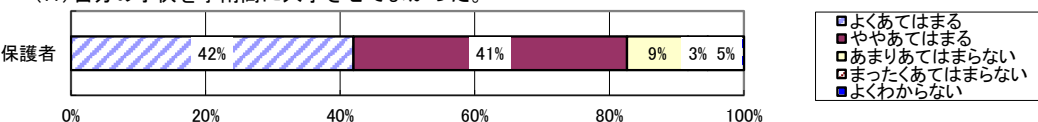
79%の保護者から「関心がある」との回答が得られたものの、昨年度(82%)から減少し、「関心がない」と答えた保護者は昨年度より3%増えた。「よくわからない」との回答も昨年と同様に4%ある。本校の教育活動をより一層充実させ、教育内容と成果を積極的に情報として発信することで関心を高めていかなければならない。

(3) 宇南高は、教育方針をPTA総会と学年会等でわかりやすく伝えている。



この三年間では、肯定的評価が緩やかながら上昇(67%⇒72%⇒74%)傾向にある。それでも、5人に1人が否定的に評価しており、教育方針の情報発信については依然として課題が残る。PTA総会や学年PTA等で発信する情報を吟味するとともに、HP等の積極的活用を通して、改善に努める。

(17) 自分の子供を宇南高に入学させてよかった。



肯定的評価が昨年度87%から83%に減少し、否定的評価は7%から12%に増えた。生徒への同様の質問で得られた肯定的評価を4%下回り、否定的評価は同じであった。今回、否定的評価が増えた原因・背景を分析し、教育活動の様々な場面で保護者との連携強化を図り、学校と家庭の双方で生徒の健全な育成に努めなければならない。